

# 「保育と現代ビジネスのためのデータサイエンス教育プログラム」

宮崎学園短期大学の「保育と現代ビジネスのためのデータサイエンス教育プログラム」が、令和4年8月に文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定されました。



**MDASH Literacy**  
Approved Program for Mathematics, Data science and AI Smart Higher Education

**数理・データサイエンス・AI  
教育プログラム認定制度  
リテラシーレベル**

## プログラムの概要

宮崎学園短期大学  
MIYAZAKI GAKUEN JUNIOR COLLEGE

「保育と現代ビジネスのためのデータサイエンス教育プログラム」



### プログラムの教育目標

・高度情報化時代に対応した人材が求められる社会において、ビジネス業界や保育士・幼稚園教諭として求められる「数理・データサイエンス・AI」の基礎的知識と技術を日常の生活及び仕事に活用できるよう身につけ、未来の職場で活躍できる人材を養成することが本プログラムの目標です。

### プログラムの概要

・本プログラムは本学に在学する全学科の学生を対象としています。

- ①保育科は、一般教育科目の自然科学分野において開講される「情報処理概論Ⅰ・Ⅱ」の2科目（合計2単位）を必修科目とし、同分野の「数学」（2単位）、専門科目の「教育方法と技術」（2単位）が選択科目（その他の推奨科目）になります。
- ②現代ビジネス科は、一般教育科目の自然科学分野において開講される「情報処理概論A・B」の2科目（合計2単位）と専門科目の「キャリアガイダンスⅠ」（2単位）を必修科目とし、情報処理演習Ⅱaが選択（オプション）科目になります。
- ③修了要件を満たした学生には「宮崎学園短期大学DS教育プログラム（リテラシー）修了認定証」が発行されます。  
※令和4年度の文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に申請予定です。

### プログラムの構成

- ①保育科：情報処理概論Ⅰ・Ⅱ（合計2単位）：必修  
数学（2単位）と教育方法と技術（2単位）：選択
- ②現代ビジネス科：情報処理概論A・B（2単位）とキャリア教育Ⅰ（2単位）：必修、情報処理演習Ⅱa：選択

### プログラムの修了要件

・本プログラムを構成する各学科の必修科目を修得することが修了要件です。単位取得が完了した年度末にプログラム修了を認定します。なお、プログラムへの参加・修了認定に際し、申請等の手続きは不要です。単位取得完了をもって自動的に修了認定し、修了認定証を発行します。

## プログラムの構成

宮崎学園短期大学  
MIYAZAKI GAKUEN JUNIOR COLLEGE

「保育と現代ビジネスのためのデータサイエンス教育プログラム」の構成

高度情報化時代に対応した人材が求められる中で、本学はビジネス業界や保育士・幼稚園教諭として活躍する人材を育成し、過去5年間、連続して高い就職率（100%）を達成している。また、本学はディプロマポリシーに基づいて、卒業する時には誰もが仕事の現場で即戦力となり得る社会人スキルを持てるように、基礎から応用に至るまで段階的に学べる履修モデルを構築している。近年では、小学校から高校までの情報教育の導入が促進され、大学に入学してくる学生の更なるスキル向上が必要となっていることから、本プログラム「数理・データサイエンス・AI」プログラム（リテラシーレベル）を構築して文部科学省への認定申請を準備している。

- 【目的】
1. Society 5.0の社会において求められる「数理・データサイエンス・AI」を日常の生活及び仕事に活用できるよう基礎的知識と技術を身につける。
  2. ロジカルシンキングの向上を図り、問題が発生したときにも自ら考え、適切な判断力によって、解決へと導けるようになる。
  3. PC・IoT・ビッグデータ・AIの活用スキルを向上でき、主体性をもってデジタル化社会に対応できるようにする。

【 学科の目指す進路 】	保育科	現代ビジネス科
職業・業界・進学	保育士、幼稚園教諭	実践ビジネス、メディカル秘書、司書、メディアコミュニケーション、大学編入

【プログラムを構成するモデルカリキュラムと認定評価項目】

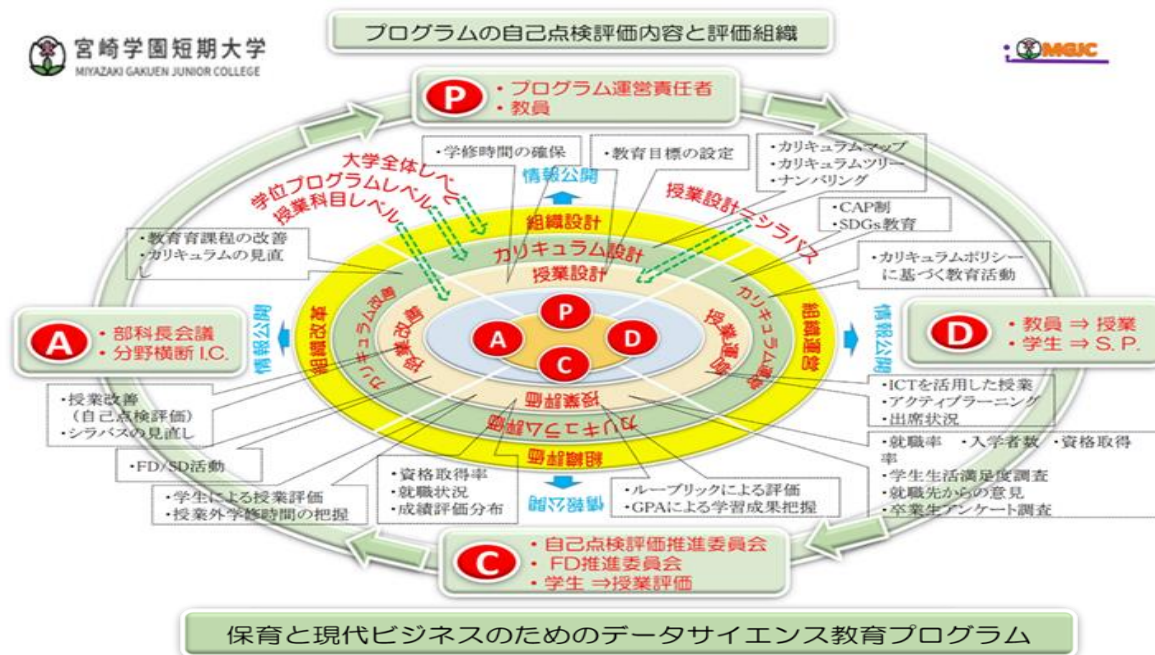
開講科目 (認定評価項目)	情報処理 概論Ⅰ	情報処理 概論Ⅱ	教育方法 と技術	数 学	情報処理 概論A	情報処理 概論B	キャリア ガイダンスⅠ	情報処理 演習Ⅱa
	<b>導入</b>	1-1 社会で起きている変化 1-6 データ・AI活用の最新動向	○	○	○	○	△	
	1-2 社会で活用されているデータ 1-3 データ・AIの活用領域	○	○	○	○			
	1-4 データ・AI活用のための技術 1-5 データ・AI活用の現場	○	○	△	△	○	△	
<b>基礎</b>	2-1 データを読む 2-2 データを説明する 2-3 データを扱う		○	○		○		
<b>心得</b>	3-1 データ・AI活用における留意事項 3-2 データを守る上での留意事項	○	○		○	△	△	
修了要件と単位数（選択は推奨科目です）		必修2単位		選択科目		必修4単位		選択科目

※ 上の表中に表示してある△は、各認定評価項目の一部を含んでいることを表しています。

※ 情報処理概論Ⅰ・Ⅱ（保育科）と情報処理概論A・B（現代ビジネス科）は、令和3年度から本学の必修科目となっています。



## プログラムの実施体制



## 身につけることが出来る能力

- Society 5.0の社会において求められる「数理・データサイエンス・AI」の基礎的知識と技能を身につけ、日常生活及び仕事に応用できるようになる。
- ロジカルシンキングの向上を図ることができ、問題が発生したときにも自ら考え、適切な判断力によって、解決へと導けるようになる。
- PC・IoT・ビッグデータ・AIの利活用スキルを向上でき、主体性をもってデジタル化社会に対応できるようになる。
- SNSやIoT、ビッグデータ、AIと言った社会を取り巻く新たな情報技術に関する知識を身につけ、ネットワークに関する様々な危険性を理解し、情報セキュリティに関する正しい知識を身に付けられる。また、デジタルデータについて学び活用ができるようになる。

## 修了要件

- 保育科の修了要件は、一般教育科目の自然科学分野において開講される「情報処理概論Ⅰ」、「情報処理概論Ⅱ」の2科目（合計2単位）を必修科目としている。情報処理概論Ⅰ、「情報処理概論Ⅱ」は、各々90分×15回の授業を実施する。なお、一般教育科目の「数学（2単位）」と専門科目の「教育方法と技術（2単位）」は、「選択（オプション）」科目である。
- 現代ビジネス科は、必修科目である「情報処理概論A」、「情報処理概論B」、「キャリアガイダンスⅠ」の3科目3単位を修得することが必須である。専門科目の「情報処理演習Ⅱa（1単位）」は、「選択（オプション）」科目である。

## プログラムを構成する授業科目・内容・方法（シラバス）

- [保育科の授業科目\(pdf\)](#)  
 必修科目：情報処理概論Ⅰ、情報処理概論Ⅱ  
 選択科目(オプション)：数学、教育方法と技術
- [現代ビジネス科の授業科目\(pdf\)](#)  
 必修科目：情報処理概論A、情報処理概論B、キャリアガイダンスⅠ  
 選択科目(オプション)：情報処理演習Ⅱa

## カリキュラムマップ（履修表）

- [保育科の授業科目\(pdf\)](#)
- [現代ビジネス科の授業科目\(pdf\)](#)

## 自己点検・評価

各年度における自己点検・評価を実施して公開しています。

- [令和3年度点検・評価報告書\(pdf\)](#)

## 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）申請書

令和4年度に「保育と現代ビジネスのためのデータサイエンス教育プログラム」を申請しました。

- [申請書 2022\(pdf\)](#)